

コロナ禍と オリンピックから見た 日本の司法と社会

2021年7月16日(金) 18:00~20:00(開場17:40)

会場／オンライン(Zoom)同時開催 参加無料

会場参加の方: 虎ノ門法経ホール

(東京都港区西新橋1丁目20番3号 虎ノ門法曹ビルB1F)

オンライン参加の方: お申込みの方にZoomのURLをお送りします。

パネリストプロフィール



小西 洋之(参議院議員)

総務省、経産省官僚を経て2010年に参議院議員初当選。

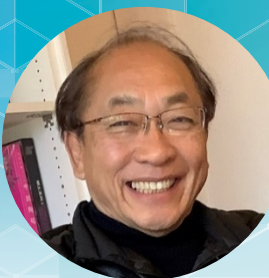
参議院外交防衛委員会筆頭理事、予算委員会委員など、多くの場面でこの国を変えるべく活躍中。



伊藤 和子(ミモザの森法律事務所・弁護士)

ニューヨーク大学ロースクール客員研究員を経て、国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ事務局長に就任。

女性や子どもの権利の分野の第一人者として、日々理不尽と戦っている。



所 源亮(バイオベンチャー代表)

穀物品種改良の世界最大手(米)を経て独立後、動物用ワクチン会社を設立(後に売却)。現在は「日本から世界へ、手に届く医療を」を理念とするウイルスを使った治療薬のバイオベンチャー代表を務める。

前一橋大学イノベーション研究センター特任教授。

モデレーター

久保利 英明(日比谷パーク法律事務所・代表弁護士)

ビジネス・社会・司法を引っ張るトップランナー。

日本取引所グループをはじめ多くの社外取締役や第三者委員会委員を歴任。

志ある若手法律家を育てる「久保利塾」の塾頭でもある。

新型コロナウイルスは、日本と世界を恐怖に陥れ、多くの人々の生活に大きな影響を与えました。しかし、コロナによって「日本の問題」が浮き彫りになってきました。コロナで国民の生命と健康、経済活動が大きな被害を受けているなかで、政治と司法は何をしたのでしょうか。

なぜ、日本は「ワクチン後進国」となったのか？ 国民の人権を守る最後の砦である裁判所は、緊急事態宣言を理由にどのような対応をとったのか？このことが問われています。

また、今、コロナ禍のなかで、オリンピックが開催されようとしています。これは、国民の生命と健康を考えた結果なのでしょうか？

この国の政治・司法の問題点がコロナとオリンピックではっきり見えてきました。

「コロナとオリンピックによって見えた日本の問題」に焦点を当て、各界の第一人者の視点から日本を俯瞰する、これが、今回のLaw未来の会のシンポジウムのテーマです。

どなたでも参加可能ですので、ぜひご参加ください。

<お申込方法はこちら>

- ① 件名に「7/16参加希望」、② 本文中に「ご氏名・ご所属」、③ 本文中に「会場/Zoomのいずれでの参加をご希望か」を記載いただき、info@lawyer-mirai.com 宛にメールをお送りください。ZoomのURLをお送りいたします。こちらのQRコードからもアクセス可能です。

